

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和6(2024)年度第3回みよし市スポーツ推進審議会		
開催日時	令和7(2025)年1月31日(金曜日) 午後3時から午後4時45分まで		
開催場所	三好公園総合体育館 会議室B		
出席者	(委員) 岡村誠、柴田雅文、縄田亮太、寺尾悟、加藤史泰、柳川傑、 太田律子、長谷康美、水野伊津子 (事務局) 増岡教育長、富田教育部長、林スポーツ推進監兼スポーツ課長、 木野スポーツ課副主幹、鈴木スポーツ課主事 (傍聴者) なし		
次回開催予定日	令和7(2025)年4月		
問合せ先	教育部スポーツ課(担当:木野・鈴木) 電話:0561-32-8027		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
審議経過	1 委嘱状交付 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和6(2024)年度スポーツ活動に関するアンケート調査の結果について 4 審議事項 (1) (仮)みよし市スポーツ推進計画2026-2030について		

発言者	発言内容
	1 委嘱状交付
典礼(林課長)	本日は、大変お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。 ただいまから、令和6(2024)年度第3回スポーツ推進審議会を開催します。 スポーツ推進審議会は、みよし市会議公開制度に基づき、傍聴希望者を会議で傍聴できることとなっております。 本日の傍聴希望者はありませんでしたので、御報告をいたします。
典礼	始めに、委嘱状の交付を行います。 令和6(2024)年12月を持ちまして、トヨタ自動車の桑原委員、名古屋グランパスエイトの中井委員が社内異動により退任されました。後任にトヨタ自動

	<p>車の寺尾悟様、名古屋グランパスエイトの加藤史泰様に御就任いただきました。</p> <p>寺尾様、加藤様はその場で御起立をお願いいたします。</p>
増岡教育長	委嘱状交付
典礼	<p>任期は、みよし市スポーツ推進審議会条例第5条に前任者の残任期間とする、とありますので、令和8年3月31日までとなります。よろしくをお願いいたします。</p> <p>ここで、寺尾委員、加藤委員から、御紹介を含めて一言御挨拶をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
	2 あいさつ
寺尾委員	<p>1月1日の異動により、前任の位置付けとは少し変わってきますが、スポーツ涉外全般、アジア競技大会、東京デフリンピック、それから寄付協賛といったところを担当することになりましたので、引き続きお世話になります。任期満了までしっかり活躍していきたいと思っておりますので、御支援よろしくをお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>こんにちは、名古屋グランパスの加藤でございます。私は前の部署では、アカデミーと言ってプロ選手を育てるところに所属しており、サッカースクールでみよし市には大変お世話になっていたこともあり、今回後任を務めさせていただくことになりました。</p> <p>私自身、グランパスには、異動こそありますが、24年間もおりまして、三好町の頃から、2000年ぐらいからずっとお世話になっておりますので、少しでも力になればと思っておりますので、ぜひよろしくをお願いいたします。</p>
典礼	<p>ありがとうございました。それでは、開会にあたり、岡村委員長に御挨拶をいただきます。</p>
岡村委員長	<p>スポーツ推進審議会の委員長を務めさせていただいております岡村と申します。東海学園大学に所属しております。</p> <p>本日は、審議会としては第3回ですが、来年度がみよし市スポーツ推進計画の新しい計画の策定年となっております。この推進計画はスポーツ基本法でも定められ、市の行政計画、スポーツ推進分野の行政計画で市のスポーツのあり方を決める中核的な計画です。</p> <p>今回の審議会は、今後のスポーツのあり方を方向付ける計画の審議ということですので、非常に大事な会議であると思っております。今回の審議にあたっては、ぜひ、忌憚なき意見をいただければと思っております。私自身も研究者という立場からも意見を言わせていただこうと思っておりますし、円滑な進行に努めていきたいと思っておりますので、本日もよろしく申し上げます。</p>
典礼	<p>ありがとうございました。それでは、続きまして、増岡教育長から挨拶を申し上げます。</p>
教育長	<p>皆様、改めましてこんにちは。教育長の増岡でございます。本日は公私ともお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>間もなく節分という季節になりましたが、来週は大変寒くなると予想されています。学校現場では、年末に少しインフルエンザが流行り、年明けの暖かさとともにだんだん減ってきていましたが、この寒さとともに次のB型の流行が来るのでは、と少し心配しております。</p>

	<p>また、2月になるということで、少し調べてみたところ、2月には如月という言い方以外にも、令月というものがあるそうです。これには、何をしてもいい月、めでたい月という意味があるそうで、みよしにとって、また僕としては、子どもたちにとってもいい2月になるといいなと思います。</p> <p>先日開催した、みよし市新春マラソン駅伝大会では、去年の1.7倍の1,898人のエントリーがありました。新型コロナウイルスにより中止し、再開後にはなかなか参加者が集まらず、去年、一昨年、は苦戦しました。</p> <p>今年はスポーツ課に、全学校を回って宣伝してみても、と提案をしたところ、スポーツ課の職員が、各学校で全校の子どもたちに呼び掛けてくれました。自分の方でも、少年野球の関係の方々にお願ひし、スポーツ少年団ということもあり、全部のチームが選手を出して、新春マラソン駅伝大会ができたということもあり、2月の前に明るい兆しかなと感じたところであります。</p> <p>スポーツ推進審議会、来年度の推進計画策定に向けて、というお話を先ほど岡村委員長からもいただきましたが、市全体の雰囲気とか環境とか勢いとか、そういうものを醸成していかないと、なかなか、子どもたち、または特に現役世代が、観るスポーツにしても支えるスポーツにしてもするスポーツにしても、足が向かないのではと思っています。</p> <p>先日、防災の話聞いた時に、1番の防災グッズは健康な体だ、という人がいました。人間が生きていく上で1番大切なところってそこかなと思うので、それを担うこのスポーツ関連の審議会ですので、どうかいろいろな方面からお知恵をお借りして、来年度策定の推進計画がいいものになっていくといいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。</p>
典礼	<p>ありがとうございました。ここで、教育長は他の公務のため退席させていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、議題に入ります。「みよし市スポーツ推進審議会運営規則」第2条第3項に、「委員長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する」とありますので、岡村委員長に進行をお願ひいたします。</p>
	3 報告事項
岡村委員長	<p>それでは進行をさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>早速議事に入りたいと思います。委員の皆様の忌憚のない意見と円滑な進行に御協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>最初の議事として報告事項になりますが、「令和6(2024)年度スポーツ活動に関するアンケートの結果について」ということで、事前に事務局から資料送付があり、皆様には御確認いただいているかと思ひます。時間の都合もありますので、今回、事務局からの説明は割愛させていただき、皆様から御意見あるいは御質問をいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p> <p>このアンケート結果、調査結果の概要について何か委員の皆様から御意見、御質問等ございませんでしょうか。</p>
柴田委員	<p>確認ですが、20歳以上のスポーツ実施率について、20歳以上と一括りにしてありますが、年齢ベースでも把握されていますか。</p> <p>そういう細かなところがわかれば、またそれに対してどうしたらいいかというのがわかるかと思ひます。</p>
林課長	資料を用意します。

岡村委員長	<p>今、柴田副委員長がおっしゃったように、成人のスポーツ実施率は大事な指標ですが、おそらく、高い年代と低い年代というのが出てくると、それぞれに特色が出てくると思いますので、それがわかると推進計画において、重点ターゲットとすべき対象というのもある程度見えてくるかと思います。</p> <p>その数値をちょっと待ってからぜひお話をさせさせていただければと思います。他に質問などありますでしょうか。</p> <p>私から確認をお願いします。11の支えるスポーツ、1年間のスポーツ実施率、ボランティアを行ったかということで、年間のボランティア実施率というのが出ているかと思います。</p> <p>総じてみると、昨年と比べると0.1%増加となっていますが、昨年、一昨年と20歳未満の実施率が非常に高くなっています。この2年間、これが高かった原因や背景などはありますか。</p>
林課長	<p>三好高校や東海学園の学生が市の大きなイベントで手伝ってくれたことも大きいかと思います。スポーツ課の立場から助かっているというところもあり、今回のマラソン駅伝大会も三好高校の野球部が来て、運営に関わってくれました。ただし、アンケートは無作為抽出の1,000人からの抽出ですので、どこまで反映しているのか、というのがはっきりとはしていません。</p>
岡村委員長	<p>これは次期計画の話と関連しますが、スポーツというのはやはり自発性というものが非常に大事で、ただ単に自分たちが実施するだけではなく、その場をいかに作っていくかという事も、我々市民の1つの重要な役割と言っても過言ではないと私は考えております。ですので、このボランティアの実施率に関してはまたぜひ注視して追っていく必要があるかなという風に感じましたし、今後、計画の策定時には、目標の部分とどういう風に関わっていくかっていうところはまたお話ししたいと思います。</p> <p>他に何かありますか。</p>
寺尾委員	<p>今のところで、5.3%という数字は、一般的に高いのでしょうか。10%の目標値が高いかどうかがわからないので、説明などしていただけますか。</p>
岡村委員長	<p>10%という目標値について、何か根拠などありますか。</p>
林課長	<p>スポーツ活動実施率のアンケートは毎年行っており、支えるスポーツの部分で、どの程度市民が関心を持ってボランティア活動に参加できたか、というところをずっと調査しています。これまで、10%を超えたことはありませんが、今後、アジア競技大会のような大きなイベントもあり、市民の参加というところは非常に必要になってくるため、この支えるスポーツの市民の理解が必要ということから10%という目標値としています。</p>
岡村委員長	<p>他はよろしいでしょうか。</p>
寺尾委員	<p>令和4年度スポーツ実施状況に関する世論調査、文科省で言うと、スポーツに関するボランティアに参加した割合ですが、指導とは関わらず、スポーツ大会、イベントの運営、手伝いなどに参加したのは9.9%。前年度から1.7%増で、こういうところを根拠にすると、みよし市の目標値は0.1%は上回っています。みよし市では、ボランティアの仕組みなどありますか。</p>
林課長	<p>スポーツイベントボランティアという登録制度があります。</p>
寺尾委員	<p>そこに登録しておけば、情報が流れてきて見た人が参加できる、という形ですね。なるほど、わかりました。</p>

水野委員	みよし市にスポーツボランティア登録してる人は何人ぐらいいますか。
木野副主幹	イベントボランティアとしての登録は10名少々ですが、さきほどの説明にもありましたように、大学との連携の中で学生へのアプローチをしたり、三好高校もアプローチしながら募集している、という状況です。
水野委員	高校生・大学生は、スポーツ指導はできないですね。
木野副主幹	スポーツイベントボランティアへの登録ですが、スポーツ指導ということではなく、いわゆる運営側、例えば競技の補助、調理接待や環境美化など、そういう大会運営側として登録をいただいております、学生に対してもそういう内容でお願いをしております。
縄田委員	スポーツ指導やボランティアを行ったか、など、スポーツ指導というワンフレーズ入れる、それ以外にも何でもいからボランティアとして関わったかという質問にするだけで、それだけで数は、実態は上がるのかなと思います。ここはスポーツ庁、もしくは文科省の質問項目と揃えた方がいいのかなと思います。今後の課題になるかもしれませんが、そうすると、実は10%は割といくのかなと思いました。
木野副主幹	アンケートでは、スポーツ指導やスポーツ大会の運営などを、スポーツに関するボランティア活動を行いましたか、という質問事項で、指導についても項目の中では聞かせていただいております。
岡村委員長	今、縄田委員からお話があったように、アンケート調査に関しては聞き方1つでかなり数値が変動すると思います。じゃあ数値をどういう風にもっていくか、例えば、全国平均と比べるということに重きを置くのであれば、文部科学省あるいはスポーツ庁の文言に合わせるのが多分やり方としてはいいだろう。一方で、これまでの推移を追うということを重視するのであれば、聞き方はいじらない方がいいという考えもあるかと思います。 今後推進計画でどういう風に盛り込んでいくか、というところとも関係してくると思いますので、また来年度以降に検討していければと思います。
柴田委員	スポーツの定義について、ジョギングとかそういったこと以外にも幅広く、自分が日常生活の中で少し意識した運動、例えば子育て中の人、自分に少し負荷をかけながら子育てをする、というようなところもスポーツとして捉えてもいいのかなと思います。回答する人が、そういった理解の上で、アンケートに答えてくれると、この数字は変わってくるのではと思います。 どうしても現役世代の年代だと、家が忙しいとかそういったところで、ものすごく実施率って低いんですね。だけど、実際その人たちは、体を動かす、という概念から言うと、仕事をしながら結構運動していると思うんですよ。だから、そういうところもスポーツとして捉えてもいいものであれば、そういうところを説明の中に入れてアンケートを取ったら、この数値も随分変わってくるんじゃないのかなと思いました。
岡村委員長	柴田副委員長から話あったスポーツの定義っていうのは、多分質問、調査だけではなくて、今後の推進計画においてもおそらく非常に大事な論点になってくるかと思いますが、関連して、現時点でみよし市はスポーツの定義について、明確なものはあつたりしますか。
林課長	体を動かすだけではなく精神的な充足を図ったりするなど、体力の向上、ストレスの解消など、一応スポーツ基本法にあるものとして捉えています

	<p>が、うまくアンケートで表現できてないというのが少しあるかもしれません。単純にアンケートでは、スポーツをやったことがありますか、どんなスポーツですか、という質問で、競技種目を例示していますが、体が動かない人にとっては例えば手を動かしてあげるとか、そういった細かいところの聞き方を上手に考えていくと、もう少し数値が上がってくるかもしれません。</p>
岡村委員長	<p>スポーツというものをどう捉えるかというのは、今まで国の基本法に準拠していたという形で、そこまでこだわらなかった部分というのはあるかと思えます。スポーツ推進計画を策定するにあたり、この審議会でスポーツというものをどういう風に捉えるか、ということも1つ議論としてはあるのかなと私自身も感じました。</p> <p>今副委員長がおっしゃったように、スポーツの定義は、実は研究者でもいろいろなものがあり、統一されていないです。スポーツ基本法でも、日本スポーツ協会が出しているスポーツ宣言、日本の中でも色々で、海外の研究者にもいろいろな定義があります。</p> <p>なので、逆に言えば、この審議会で、あるいは市としてこうだ、としてしまうのも1つ手かなと思えます。この計画の中にも、スポーツは何かというようなことも書いてあるので、その時点でスポーツというもののの中にどういうものを含めるのかとか、その辺りを今後議論いただければと思います。</p> <p>調査に関連して他に何かありますでしょうか。</p>
水野委員	<p>アフタースポーツという言葉の意味、定義について教えてください。</p>
木野副主幹	<p>アフタースポーツの施設と言いますのは、体育館の競技場、アリーナなどのスポーツや体を動かす場、というだけではなくて、例えば、懇談ができるようなカフェテリアのような部分があったり、シャワーや更衣室のようなもので、体を動かした後に集う場や自分の体調を整える場などをアフタースポーツのための施設と位置付けさせていただいております。</p>
縄田委員	<p>先ほどのスポーツの定義について、私は子育て世代ですが、家事をしながら体を動かして気晴らしというのはきついのでは、というのが一応私の意見としてあります。</p> <p>スポーツの定義としては一応、気晴らしという大前提があって、そこからスポーツ庁やスポーツ協会なども定義づけしているはずなので、身体活動としては、家事をしながらでも何かやれば、多分運動不足自体は解消すると思えますが、それをスポーツと混合させることには、違和感があります。</p> <p>身体が不自由な方が鉛筆を出して、これが運動なのか、と言ったら、それも議論があると思えます。こういったモデルがあったとして、その例外がある、例外、例外…とあまり例外的なところも含めていくと、收拾がつかなくなるので、まず考え方をスポーツ庁に合わせていくのがいいと思えます。</p> <p>また、みよし市としてデータを取ってきた時に、60%、70%ありました。でも他の市は30%止まりとなり、中身を見られた時に、そんなものまでカウントしていたのかとなったときに、逆に、多分みよし市のスポーツ政策の信頼にも関わってくると思えます。その辺りも含めると、ナショナルスタンダードに合わせてつつ、少しみよし市らしさの指標を入れる程度など、そこは慎重に行った方がいいかなというのが私の意見です。</p>
岡村委員長	<p>そうですね、ありがとうございます。おっしゃる通りで、やはりその他の地域と著しく、例えばスポーツの捉え方が違うというのも、信頼的な部分としては少しいかなものか、というのは確かにおっしゃる通りです。ですの</p>

	<p>で、基本、スポーツ庁ですとかそういったところ、あるいは国が提示しているようなスポーツというものの概念に準拠するという事は、私としてはそうあるべきであろうと思います。計画の策定時にはスポーツの定義についても議論していければと思います。</p>
岡村委員長	<p>他はよろしいでしょうか。</p>
加藤委員	<p>調査結果の報告のボランティアのところ、名古屋グランパスのボランティアは今300名ぐらいいて、毎試合50名ぐらい来ていただいています。</p> <p>アンケート調査について、我々も試合の時に観戦者調査をしますが、調査をやるには仮説、目標があって、こういう結果が出てどうアクションするか、までが一体だと思っています。今回のアンケートの結果を踏まえて、みよし市で今後どうアクションしていくか、もしくはアンケートを精査してもう1回やろう、などそういう方針などはある程度持っていたりしますか。</p>
林課長	<p>市として今やっているのは、大きなイベント、市民全体を対象にしたイベントを開催し、スポーツに触れる機会や始めるきっかけを作る、それがスポーツ祭であったり、マラソン駅伝大会、競技スポーツの推進では、スポーツ協会の活動を支援することで、競技スポーツの団体と選手等を支援しています。あと、レクリエーションスポーツでは、いろいろな年代の市民が、スポーツに触れ合うことができます。</p> <p>普段の身近なところでやる、というところで、総合型地域スポーツクラブというのが3つあり、ちょうど北部、中部、南部に1つずつというのがみよしのスポーツ推進の基本となります。また、今パートナーシップ協定を結んでいる名古屋グランパスさんとか中日ドラゴンズさんとか、そういった企業との連携も合わせてやっています。このような活動が、市民のスポーツ実施率に反映しているかを、アンケートで調査しています。</p>
岡村委員長	<p>追加資料について説明をお願いします。</p>
林課長	<p>20歳、25から29歳が14%と、かなり低くなっています。</p>
岡村委員長	<p>逆に言うと、ある程度年代が上がると、上がってくるということですね</p>
林課長	<p>みよし市は過去もこのよう傾向で、若い人、20代、30代、40代で週1回でスポーツをするという人が、今まででも非常に少なかったです。</p>
岡村委員長	<p>この結果から見ると限りにおいては、みよし市のスポーツの推進としてはこの年代層にアプローチをするということが必要かと思っています。</p>
縄田委員	<p>ターゲットを絞ることは多分、施策に必要なかと思いますが、このデータから見るとターゲットは25～29歳の年代になりますか。</p>
林課長	<p>20代、30代、他にもスポーツ実施率が低い40代、50代前半までですね。</p>
岡村委員長	<p>ターゲットを絞る、限定するというよりは、こういった年代に対して重点的な施策を検討する必要があるのではと思います。</p>
	<p>4 審議事項</p>
岡村委員長	<p>では、次の審議事項に移りたいと思いますが、みよし市スポーツ推進計画2026-2030について事務局から説明をお願いします。</p>
木野副主幹	<p>はじめに、来年度の新たな推進計画策定のスケジュールについて確認をさせていただきます。</p>

今年度は、皆さんの御意見を伺いながら、推進計画の基本となる骨子の作成をしております。令和7年度は3回の審議会を予定しており、第1回の審議会を4月下旬に開催を予定させていただき、新たな推進計画の策定について、正式に教育委員会から審議会に諮問をさせていただいた上で、この新たな推進計画の策定案についての御意見をいただきたいと思っています。4月の会議の内容を踏まえ、5月から6月に令和7年度のスポーツ活動に関するアンケート調査を実施し、その調査結果を踏まえ、第2回の審議会、7月中旬頃に、修正した策定案を提示させていただきたいと思っております。その後になります、教育委員会、市役所内の各部局、議会へ、11月中旬から12月にかけて、市民の方に広く意見を伺うパブリックコメントを予定しております。このパブリックコメントでいただいた意見を踏まえ、最終的には第3回の審議会、1月下旬を予定しておりますが、こちらに推進計画案を提示し、審議をいただき、答申という形で審議会の御意見をまとめたものを教育委員会にいただきたいと考えております。

続きまして、みよし市スポーツ推進計画2026-2030の骨子案、お手元の資料を御確認いただきたいと思っております。

1枚目には、骨子案ということで、新たな推進計画の構成の全体を記し、この構成を文章化したものを添付しております。

初めに、資料の1ページ、第1章の計画の策定にあたってというところを御覧ください。先ほども御審議をいただきましたが、スポーツ推進の意義についてこちらに記載をさせていただいております。こちらにつきましては、スポーツは「自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化」である、これはスポーツ宣言日本から抜粋しておりますが、これを踏まえてスポーツ推進の意義について記載をしております。

資料の2ページ以降は、新計画の策定の背景、計画の位置付け、期間などを記載し、新たに策定する計画の前段となるものを第1章としております。

なお、資料3ページの4、計画の期間ですが、現在のみよし市スポーツ推進計画では10年の計画とし、途中の5年の時点で見直しを行って今現在進めております。ただ、最新の国や県の計画では、5年間で策定していますので、みよし市においても、今後のスポーツ情勢の変化に対応していけるよう、国や県と同じように5年間の計画の策定としました。なるべく、社会情勢や市の状況と乖離がないような形のものを作っていきたいと思っております。

資料4ページ、第2章では、本市のスポーツ推進の現状と課題について記載しております。こちらについては、先ほど御審議いただきましたが、来年度のアンケート調査の結果、過去10年間のみよしの現計画での推進なども踏まえながら、もう一度考察していきたいと思っております。現状令和6年度までのアンケート結果を基にまとめてありますが、先ほどのスケジュールの中でお話したように5月から6月に令和7年度のアンケート調査を行いますので、第2回の審議会の際にはこの結果についての考察も踏まえて御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

5ページですが、計画の基本的な考え方ということで第3章を記載しております。基本理念については、現計画では、「みんなでスポーツいいじゃんみよし～スポーツで築く豊かなみよしライフ～」としています。みよし市では、この基本計画の上位の計画である市全体の総合計画が、今継続しているところになります。新たな計画についても、この基本理念はこのまま引き継ぎながら、ビジョンのところで、今後5年間、みよし市がどのような形でスポーツ推進をしていくのかという、ビジョンを示させていただきたいと思っております。

ます。基本的には現計画を引き継ぐ形で、ビジョンについては今後5年間のスポーツを考えたビジョンとして、4項目あげています。

1番目では、市民をはじめ多様な主体が連携・協働して、スポーツをする・みる・ささえる機会を創出することで、誰もがスポーツに親しむことができるまち。

2番目は、スポーツを通してみんなが健康で生き生きと暮らせるまち。競技等々にこだわるのではなくて、スポーツを通して市民が健康になる、そのような施策をどのように考えていくかという。

3番目は、スポーツを通して人と人、地域と地域がつながり、にぎわうまち。スポーツを基軸とした街づくりについてのビジョンです。

4番目については、身近なスポーツチームや選手を応援し、夢や感動をみんなに分ち合えるまち。こちらも街づくりに繋がってきますが、いろいろな形でスポーツに携わったり、そのスポーツを肌で感じていただいたりして、今後の生涯でスポーツに繋げていくかという内容です。

以上4つのビジョンを踏まえ、施策の展開をしていきたいと思っています。

2番の方針について、1つが地域スポーツ推進の基盤強化、2番目に、多様な主体におけるスポーツ機会の創出、3番目に、スポーツを通じた地域の活性化ということで、主要施策を3点設定しております。1番目の地域スポーツ推進の基盤強化、3番目のスポーツを通じた地域の活性化については、現計画はこの数値目標や基本的な目標値が設定されていなく、新たに設定をしているものになります。これについても、どのような指標を使っていくかというところで、また、委員の皆様にも、アプローチの仕方、視点の見方など、御提案をいただければと思います。

2番目の、多様な主体におけるスポーツ機会の創出については、現計画では週1回でのスポーツ実施率を指標としていますので、これを引き継ぎながら目標値を定めていきたいと思っています。ここの成人と子どもの考え方ですが、今、成年年齢が18歳に引き下げられましたが、県も20歳以上ということでは定めていますので、これまでの現計画通り、20歳以上と20歳未満ということで、県に倣って設定していきたいと思っています。ここに付きましては、わかりやすい表記にさせていただきたいと思っています。

資料7ページですが、主要施策、施策体系について記載しております。先ほどの3つの施策を踏まえ、主要な施策をそれぞれぶら下げるような形で設計しております。これらの展開につきましては、8ページからそれぞれ詳細な説明をさせていただきます。

8ページからの施策の展開ですが、この推進計画は、みよし市のスポーツ振興の指針・方向性を示すものになります。あまり細かく具体的な事業を羅列し、それにとらわれて、今回市が考えている多様な主体性の動きを妨げることになっていけませんので、こちらについてはある程度方向性を示すような形としています。その中で、この計画を踏まえ、市民をはじめ、スポーツ課や市役所の関係部署、スポーツ推進団体など、いろいろな方が協働・連携できるような形を目標としているため、細かい事業まで記載することは控えたいと思っています。ただ、現在行っているものについては、それを参考にしながら幅を広げたり、新たなアプローチの仕方につなげたりするなど、新たなものを創出することができる計画としていくために、参考事例として具体的な事業を紹介しております。

資料の15・16ページ、第5章の計画の推進につきまして、推進計画の策定にあたり、それぞれの立場の方たちが、どのようにスポーツに関わっていくか

	<p>を示しています。</p> <p>15ページの表ですが、今回の5年間の推進計画において施策を展開していく上で、右側の、市(行政)から上に伸びている矢印、スポーツ事業という部分を少しずつ細めていき、隣のスポーツ推進に向けた連携・協働体制の方のボリュームを増やしていく、というような形で、多くの人にスポーツに携わっていただき、みよしのスポーツを振興していただく、というような形を目標にしていきたいと思っております。</p> <p>16ページ、最後になりますが、本審議会の役割として、計画の進捗管理・見直しというところで、みよし市スポーツ推進審議会を開催し、計画の進捗状況の確認をし、これに対する評価・助言をいただき、必要に応じて計画の修正、事業の修正を行っていくということで、附属機関の役割を記載させていただきました。骨子案についての説明は以上となります。</p>
岡村委員長	<p>ありがとうございました。それでは、事務局からの説明が終わりましたが、皆様方から御意見、御質問はありませんでしょうか。</p>
寺尾委員	<p>アジア大会の本番に向けて、プレ大会は実施する予定はありますか。</p>
木野副主幹	<p>仮決定の段階ではありますが、三好池がカヌースプリントの会場として上がっていますので、プレ大会につきましては、今現在競技団体から聞いている範囲の情報になりますが、2026年の4月末に、三好池を会場として、愛知県カヌー協会が実施予定です。</p> <p>愛知県カヌー協会が毎年4月末の最終土日に、スプリングスプリント大会というカヌーの大会を主催しています。県内外から選手が集まってくるような大会となっており、2026年の4月には、この大会をプレ大会として開催しようと、現在競技団体と組織委員会が調整していると聞いています。</p>
寺尾委員	<p>わかりました。先ほどの、みる・ささえるというところでボランティアの話があったので、例えば、本番の大会で、地元から出しましょうとなった時に、組織委員会と協力してプレ大会で1回練習をしておくとうごくスムーズになるのかなと思います。そういったことも盛り込むのもいいのかなと思うので検討していただければと思います。</p>
水野委員	<p>アジア競技大会のボランティアが広報で募集されていましたが、現時点で、目標人数に対してどのくらい集まっていますか。</p>
木野副主幹	<p>組織委員会全体としましては4万人必要となりますが、みよし市の会場割り当てでは、250名のボランティアが大会を通して必要となっています。1月22日現在では、250名の募集に対して、64名となっております。組織委員会では1月末までボランティア募集をしていましたが、みよし市の現状もそうですが、全体でも集まり方が芳しくないということで、3か月延長し、4月末までの募集期間となっております。市としても、引き続きボランティアの募集をしていきたいと考えております。</p>
寺尾委員	<p>ボランティアの募集について、東京2020では抽選ではじき出すほどでしたが、今は全体的に集まりが相当よろしくないという状況です。市の方でもぜひ御協力いただけたらいいかなと思います。ボランティアなくして大会運営は難しく、他にもホテル問題など色々生じております。</p> <p>スポーツセンターの方でもそういうところで何か使えないか、ということは今組織委員会と調整しています。例えば練習会場になれば見学とか、そう</p>

	<p>いったことも、ぜひ実施していければと思っています。</p>
<p>岡村委員長</p>	<p>推進計画の説明を聞いた中で、あと他の自治体や国の政策、計画色々と調べて拝見しましたが、今回のみよし市の推進計画で特徴的な部分としては、まず1点目として、スポーツというものが、第1章で書いてあるように、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化であり、競技としてのスポーツ、いわゆる近代スポーツ、ルールがしっかりできていてそのルールに則って勝利を目指すという、要するにメジャースポーツに代表されるようなものだけではなく、例えば何か仲間内で遊ぶことや、ジョギングのような個人の運動とか、そういった活動も含むようなものとして捉えられるんじゃないかということ、まずここで謳っていくというのが1つの部分です。</p> <p>あとは、5年間ということで少し短縮する中で、より環境の変化に対応していこうということもあったかと思います。本当に、アジア大会ですとか、今いろいろなスポーツ情勢というものが目まぐるしく変わっている中で、市の施策としては、5年間という短期間にしたことは望ましいものになったのではないかと思います。</p> <p>あとは、計画の基本理念に関しては、これはあくまでも市の大元の総合計画がある中で、そこに整合を取ったうえで、スポーツ推進分野の観点としてはこの4つのビジョンを掲げますよ、といったところも前回の計画と比べて新しいものになるかと思います。</p> <p>もう1つが、この施策の方針の部分で、今までの過去の計画では、行う、観る、支える、環境の整備、スポーツの交流と連携という5つの観点から見て、そのカテゴリー分類した上でそれぞれ各個別の取り組みを進めてきたというものだったかと思いますが、それを再類型化し、3つに集約しました。</p> <p>この3つという中で、方針1というのが特徴的なのかなと思いますが、地域スポーツ推進の基盤強化というのを1つの大きな施策の中核として独立させたこと。これはつまり、ここにも書いてあるように、地域のスポーツを推進するための仕組み作りと言いますか、推進するにあたって、個人、組織、いろいろなところと連携をしていかなきゃいけないという中で、そのための関係づくりや、地域のスポーツ推進のエンジンをつくっていくという施策の1つとして独立させた、そこを重点とした、といったところが特徴的な部分かなと思います。ただ、その部分の数値目標というのが非常に、この施策に関してはなかなか思いつかないというのはあるかなと思います。</p> <p>2つ目としては、多様な機会の創出。これまでは行う、観る、支えるというような観点でしたが、多様な主体におけるスポーツ機会の創出という部分に集約されました。</p> <p>3つ目が、これは新しいというか、今、スポーツの魅力を活用して経済効果を期待するような、スポーツツーリズムとかそういった言葉もあるとは思いますが、そのようなスポーツの力を使って地域の活性化に貢献しようという、これが3つ目の施策です。この大きな3つの方針、重点施策のもとで各種取り組みを進めていこうという流れになるかと思います。</p> <p>あともう1つが、私もこれを見て、他にはない特徴と感じましたが、通常、スポーツ推進計画というのはいわゆる行政計画ですので、簡単に言うと、何か施策を進めていくのは基本的には行政がやる、行政が何をしていくか、というのが一般的な計画です。スポーツ推進計画の多くがそういう計画になっていますが、みよし市の今回の骨子案では、15ページの計画の推進というところで、あくまでも市だけではなくて、地域の協力環境を作った上で、地域全体で進めていくと謳われていることが1つ大きな特徴なのかなと思います。</p>

	<p>そのために、16ページに、市、行政だけではなくて、いろいろな主体としてこういった役割を担っていく、スポーツを推進するためにやっていくということが定められているといったところが非常に特徴的だなと思いました。そういったところを踏まえて、ぜひ皆様方からも御意見をいただきたいという風に考えております。スポーツ推進の意義の部分で、遊びとか運動などの身体活動も幅広くスポーツというところにまとめていく、ということですが、この辺り、縄田委員いかがでしょうか。</p>
縄田委員	<p>スポーツを幅広くとらえたときに、eスポーツも含めていってもいいのではと思います。</p>
岡村委員長	<p>そうですね、eスポーツもここに含むかもしれない、そうなってくるとeスポーツを推していく施策も必要なんじゃないかとか。その辺り、検討の余地があるかもしれません。</p>
縄田委員	<p>eスポーツはアレルギーでわざわざするのは承知ですが、西尾市スポーツ協会が推し進めていて、外部資金もかなり取れているそうです。なので、スポーツもeスポーツも分け隔てなく、スポーツを気晴らしと捉えた時に、そういうものを生み出すのがeスポーツも手段としては大事だろうと思います。西尾市eスポーツで検索したらすぐ前のめりになってやっているの、eスポーツもいいのではと思います。</p> <p>多様な主体でスポーツ機会の創出という面でも、例えば体が不自由な人も、eスポーツを通して自分の動ける範囲のものを使って世の中とか社会に参加する機会にもなるかと思えます。結果的に実は社会保障費が減らせるんじゃないかとか、そういったことも言われていますので、スポーツというものが、社会にもものすごく密接に関係しているので、そういったところまで広げるのもいいのかなと思います。</p>
岡村委員長	<p>今のはおそらく、今回重要な論点になるかなと思います。今、本当にいろいろなところでeスポーツもスポーツと捉えて推進しているというのが現状としてあります。なので、eスポーツを今後この推進計画として進めていくということであれば、そういった部分も含めた形でeスポーツという概念をここに記載する必要も多分あるかと思えます。</p>
林課長	<p>eスポーツは国、県の計画にもものっています。みよし市では例えば、全国から人を呼んでスポーツツーリズムのような形で、というのを一応想定していますが、みよし市の中に宿泊施設がない、というのが弱点としてあります。</p> <p>全国規模の大会を誘致、というところについて、カヌー以外の競技については、市民が使える施設としてという規模として使っているというのが現状です。市内にそういった宿泊施設ができれば、いわゆる身体障がい者とか、そういった人たちのできるスポーツの1つとして推進していくということではできるのかなと思います。</p>
岡村委員長	<p>私自身、eスポーツはいろんな可能性があると思ってまして、今お話にあったように、身体が不自由な人が楽しむこともできます。ただ単に身体活動が少ないという部分でこれまでスポーツとして見られていなかった部分はありますが、福祉的な価値ですとか、今おっしゃったような交流的な、そういった価値も含んでいます。ひと昔前はゲームということで若干抵抗感があるような部分もあったと思いますが、個人的には、このeスポーツというものを推進していくことを検討してもいいのかなと考えています。</p>

	<p>私自身が大学の方で一旦この地域向けのeスポーツ大会ができないかなということを考えていて、実は3月23日に開催する企画をしています。そこでは、みよし市内の小学生だとか福祉施設だとか、そういった方も誰でも参加できるような予定になっています。大規模を呼ぶだけではなく、そういった地域の小さい大会を開催していくというやり方もあるかと思います。</p> <p>ただし、eスポーツは他のスポーツと違い、公共材ではなくて、製造元のメーカーといいますか、そういったところの許諾や利権といった部分も絡むので、その辺りのハードルというか、進めていく上での勉強は必要かなと思います。個人的な意見としては、eスポーツの推進というのも1つ、施策として検討してもいいのかなと思います。</p>
寺尾委員	<p>eスポーツと直接的なところを書くかどうかという議論もありますし、多様性のところにももう少し表現として入れていただいた方がいいのかなとも思います。その中にeスポーツを作るやり方もありますし、直接的にeスポーツ、ということもありますので。</p> <p>昨年シンガポールでもIOC主催の大会も始まっていますし。ただ一方で、国内のアジア大会もそうなんですけども、微妙な立ち位置ではあるんですけども、そういった意味では可能性が非常にあるという風にも思います。</p> <p>ただし、ちょっと言葉的に暴力的なものがあったり、本当にゲームによりますが、内容によってはちょっと過激なものもありますので、その辺も理解した上で、推進していくのもありかなと思います。</p>
岡村委員長	<p>自治体として明確に推進しているのが群馬県でして、群馬県はeスポーツ推進課というのがあります。県として、eスポーツフェスタとして、eスポーツの教育的な価値ですとか、そういった部分に着目をして高校生と一緒にやってeスポーツ大会を企画するといった取り組みもあります。</p> <p>ただ、自治体として本当に明確に推進しているというのは少ないという印象なので、本当に、逆に言うと先進事例になるなら今かなという気はします。今お話があったように、やり方自体は、インクルーシブスポーツとかそういった中の1つとして、ここに明確に入れ込まなくても、その取り組みの研究会を開催してみるとか、そういった動き出しでもいいと思いますので、今の御意見をいただきまして、検討していただけたらと思います。</p> <p>5ページ目の施策の重点となる3つについて、その施策方針の2に関して、これは非常にシンプルで、実施率というのが指標として非常に適切かなと思うんですが、この推進の基盤強化の部分については、これをどういった目標を立てるのか、あるいはこれはもう定性的なものとして目標を立てないのかという判断もあろうかと思います。</p> <p>あるいは、3つ目のスポーツを通じた地域の活性化についても、まだ検討ということではありますが、この文脈からすると、スポーツを通じた交流人口の拡大ということなので、例えば観客数、スポーツイベントにおける参加人数ですとか、その辺りも指標としては使えるのかなと思います。</p> <p>ただ、既存の指標でこれにぴったりなものがあるのか、まだなんとも言えない部分もあるので、逆に言うと、令和7年度の調査に関しては、例えば今から質問項目など盛り込んで、今はない指標でも場合によっては作れるかもしれないということです。その辺をふまえて何か御意見などありますか。</p>
水野委員	<p>施策の方にも総合型地域スポーツクラブの支援と載っていますが、拠点施設が今建て替わっているところではありますが、ここは概念としてはスポーツ施設ではないということで、この計画には含まれないですね。</p>

林課長	そうですね
水野委員	<p>しかし、アリーナではありませんが、多目的ホールにはバスケットコートが2面ある、私たち事務局も拠点施設に設置していただけるということになっていますが、スポーツ施設ではないのでスポーツ課の管轄ではない、というところに、なかなか、課同士のハードルがあるかなと感じています。</p> <p>また、アンケートの総合型の質問の部分に関して、会費が安ければとか、家や職場の近くにあればというのは、拠点施設のことかなと思います。安くできて近くにあるという視点で見ると、この体育館は、自分の家からはそんな近くない、南部や北部に住む人にとっては離れている。そうすると、おおよし交流センターであったり、今度のみなよし拠点施設になると思います。</p> <p>使用料についても、現状では、おおよし交流センターも含め、総合型地域スポーツクラブだから安く利用できる、ということはありません。条例などで決まっているのかもしれませんが、別枠で利用を安くするなどしていただくと、参加費の値上げしなくても済むかなと思います。</p> <p>こういったことについて、何か市の方でお考えはありますでしょうか。もう間近にオープンする施設なので、難しいところかもしれませんが、何か具体的な施策がありますでしょうか。</p>
林課長	<p>総合型地域スポーツクラブだということで減額というのは考えはないと思います。コミュニティ施設ということで建設されますが、スポーツができる場所がありますので、7ページの3の主要施策の基盤強化の、4番のスポーツ環境の整備充実の指標にも関係してきますが、スポーツ施設の再配置計画という、スポーツ課で持っている計画に、みなよし拠点施設も含まれていくことになるのかなという風には感じます。</p>
柳川委員	<p>スポーツ施設として位置づけられないということでしょうか。たまたまその施設の所管が、協働推進課の方なのかもしれませんが、そこにスポーツ施設が配置されてるなら、こういうところに載せてっても別におかしくないんじゃないかなと思います。住民目線で見ただけの場合に、スポーツをやる人だったら、今、話にも出たように、近くにあって、スポーツができる、スポーツ施設だなどと思って使いに来ることになるかだと思います。</p> <p>市役所としてコミュニティの拠点施設という捉え方をするのもいいと思いますが、この体育館も、都市計画公園の1つとして整備して作られましたが、市民からすれば立派な体育館かだと思います。そういった観点からするとスポーツ課としては、社会体育施設というくくりの中には入れられないのかもしれませんが、そこに行けばスポーツもできるという意味ではスポーツ施設として入れてもいいと思います。市の中で、一度その辺りも整理していただいたほうがいいのかなと思います。</p>
水野委員	<p>また、協働推進課の方と密に連携を取っていただくと非常に助かります。利用できる側としても円滑にいろいろな人に利用してもらえるのかなと思いますので、お願いします。</p>
柳川委員	<p>スポーツ協会の立場でも、例えばバスケット連盟が大会をやる時に参加チームが増えてきたりとなった時は2会場に分かれてやってもいいと思いますし、そういう風にしたいという声も出ると思いますので、もう少し、柔軟かく考えてもいいのかなと思います。</p>
柴田委員	<p>みなよし拠点施設自体はコミュニティの施設になると思いますが、同じ位</p>

	<p>置づけのおかよし交流センターでは、カローリングを定期的に行っている人もいますので、そういった形で使えると良いと思います。</p>
林課長	<p>市民だれでも使えるようにはなりますが、みなよし地域の人たちが主に使うことを想定した施設として整備されます。</p>
木野副主幹	<p>今、総合型地域スポーツクラブにつきましては、地域でのスポーツ振興をやっていただいております。市民が身近な場所でスポーツができるように環境を整えるということで、地域スポーツクラブにつきましては、協働推進課がおかよし交流センター、そして新たにみなよし拠点施設を整備し、今現在、おかよし交流センターでは、スポーツクラブであれば一般市民よりも先に、先行予約という形で、場所の確保、環境を、地域でのスポーツ活動の場所を整えるということで、年間を通して事前に予約を取れるという制度を使ってもらっています。</p>
木野副主幹	<p>実際、さんさんスポーツクラブは、おかよし交流センターは使っていませんが、なかよし地区を中心としているなかよしクラブにつきましては、おかよし交流センターを先行予約で予約し、子どもたちへ空手の教室であったりとか、そういう行政ではなかなかできないような部分で地域でのスポーツ振興をする場所にいただいております。</p> <p>協働推進課の方とまだ話をしている段階ではありますが、みなよし拠点施設についても、総合型地域スポーツクラブについては、地域に根差した活動団体でありますので、先行予約という形で、一般の市民の方よりも先に施設を確保させていただいて、拠点になるような形での支援はしていくと聞いておりますので、金銭面での支援というよりは、より市民が身近な場所で、いろんなスポーツに親しめる環境づくりということで、その場所の確保という面での支援を行っていきます。</p>
水野委員	<p>使用料が出るのがもう少し先だと思いますが、そこで、条件的に合うかどうか厳しいかなと思っています。参加費に上乗せしていかないとこの御時世だと厳しいかなと思っていますが、安くできればというアンケートの回答にはそぐわないかなと。</p>
岡村委員長	<p>今、施設の問題ですとか、どれだけの支援をどうしていくかというのは、本当にこの基盤強化における重要なポイントとなるかと思っておりますので、その辺り、もう少しあらゆる可能性というのは検討していければと思います。</p> <p>私からもう1点いいですか。先ほど柴田副委員長から質問があった件で、今回、このいただいた資料を拝見させていただく限りは、私も驚いたんですけど、25から29歳、あと30代も含みますが、若者と言いますか社会人になりたての層が、非常にスポーツ実施率が低いと考えると、やはりここへのアプローチは重点的な施策として盛り込んだ方がいいのかな、と思いました。ですので、この施策方針2の多様な主体におけるスポーツ機会の創出という中で、成人というくくりの中には入ると思いますが、あるいは1つの施策として、主要施策としてもう1つ独立して盛り込み、具体的な取り組みを検討していてもいいのではないかという風に、今回この資料を見る限り感じました。</p>
縄田委員	<p>関連してですが、この主要施策も大事だと思いますが、基盤整備で施設や機会あったとして、機会があってもそこにアクセスしにくい人たち、多分やりたいけどやれないという人もいます。希望があるけどやれない、</p>

	<p>そういった人を救っていかうとすると、例えば新春マラソン大会で参加者が増えた、1.7倍にはなりましたが、潜在的にまだいるかもしれないと。じゃあ、その時に臨時的な終日預かる託児所を作るとか、そういうハードというより、ソフト面の施策にも予算をつけていくのもいいのかなと思います。</p> <p>というのも、バレーボールの大会を運営する事があって、成人、大体年齢的には25とかから40ぐらいの方が多いたのですが、みんな子どもを連れてきて、臨時の託児所のようなものが勝手にできているんです。あのチームがやる時は、私たちが見とくねといった形で。臨時的な託児所のようなところがあるから、周りの理解があるから、連れて行こうと。</p> <p>そういったものがあるだけでも、1人、2人とか、10人だけかもしれませんが、多分、そうすると、みよし市のスポーツ振興っていいな。そういった声が大きくなって口コミが広がっていくのかなと思います。</p> <p>それこそ基盤強化されて施設が立っても正直あまり直の声が返ってこないと思うので、そういった子育て世代への重点投資がスポーツ施策にも有効にはたればいいと思いました。あまり偏ってもいけません女性スポーツ施策も打ち出してもいいぐらいな気がします。まだまだ、御意見とかも少ないので、我々男性だけじゃ考えられない課題もあるのかなと思います。</p>
岡村委員長	<p>そうですね、女性や若者の世代という部分ですね。それをもう一度、この主要施策の部分でしっかり検討していければいいかなと思います。</p> <p>時間も過ぎてしまいましたので、御質問・御意見等があれば、直接、事務局の方に御連絡いただければと思います。</p> <p>それでは、本日の議題は以上で全て終了いたしました。</p> <p>円滑な議事の進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
林課長	<p>ありがとうございました。貴重な御意見をいただきまして、案に反映させていただきたいと思っております。</p> <p>次回の審議会は令和7年4月下旬を予定しております。</p> <p>本審議会の委員の皆様は令和6年度・7年度の2年間となっておりますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>では、これを持ちまして令和6年第3回みよし市スポーツ推進審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>